事務事業名	事務事業評価シート 平	成 29 年度事後評価	i•決算		百	<b>「管課</b>	平 議会事務		年 <b>2</b> 日当班	月 21 議事		
1		<b>天</b> 式\			17		項	日	主た事	(業		
(4) 手数主要の表面	施策 施策の展開 49 開かれた議会の実践	昇の充実	根拠法令 戦略事業 22	,,,,	ーネット議会	全配信事業		種	□ 新市気	基設計画 日立圏構想		
□ 事業事業の下級日 2 単級事業の内容 密停を2の上でする事務事業のから、再送の事業である。1 使用無法を行っている 2 単級の作業を選出している。 2 単級の作業を選出している。 2 単級の作業を選出している。 2 単級の作業を選出している。 2 単級の作業を設定している。 2 単級の作業を認定している。												
② 対象・	① 事務事業の期間 ② 事務事業の内 ☑ 単年度繰返 ☑ 平成 18 年度~ □ 開始年度不詳 □ 期間限定複数年度 平成 年度~			•								
# (4) 事務 事務 (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)		④事務事業に	関する課題・	環境の変	'L	⑤事務	事業に対	する住民	からの意り	見等		
世代・子田	平成21年第2回よりインターネット配信開始。平	び成24年 境が整ってきた	が、中継を行っ				迷システム	に関して、	住民から <i>の</i>	)意見は特	にない。	
工事業務の評別 (公共の) (公素) (公素) (公素) (公素) (公素) (公素) (公素) (公素	(2)コスト・特定財源の状況						100年度	97年年	100年度	20年度	20年年	
2 対策を報か内容(29年後の支票)   単位・円   1.322   1.361   1.361   2.382   1.361   1.361				實	「業務委託	料 千円 千円 千円 千円	(決算) 1, <b>32</b> 3	(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	
13.	1.国庫支出金 0 2.都道府県支出金 0 3.145 G	単位		1. 国原 2. 都道 3. 地方 4. その	支出金 府県支出 債 他	千円 千円 金 千円 千円	1,323				2,382	
① 主な活動			従	5. 一般	知 源	TE						
29年度実績(29年度に行った主な活動)			江利北西夕				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
子例会・脳時会体会議)のライブ及び接面中継を配信。	0 _ 1,1,1,1	,	) 店期拍倧名 			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	
日本会議ライブ・録画中継のアクセス数 件 5,069 4,412 3,643 3,261 4,500   日本会議の様子を市民に知ってもらう。	手 段・定例会・臨時会(本会議)のライブ及び録ほ ・ホームページについて、情報が探しやすし	ア アード アード アード アード アード アード アード アード アード アー	インターネッ	小ライブ中	継日数	日	23	21	22	23	22	
日   日   京本会議の様子を市民に知ってもらう。	② 対象・意図(対象がどのような状態に	こなるのか) 🛱 ④	) 成果指標名	ı		留尽						
(3) 事務事業優先度評価の結果			本会議ライス	ブ・録画中	継のアクセ							
①成果優先度評価結果	fy  凶  対 象 意											
成果向上余地   かなり   から程   比込ん   から   からと   とない   で位   上位   上位   上位   上位   上位   上位   上位		1 約144/厘 化 库郭 / 14 分 用		(5)成果排	皆標の動向	]						
(6) 事務事業に関する評価  ① 進捗状況	成果向上余地   かなり ある程 はとん 皮ある とない   をある とない   を	コスト比率   下位   中位   1/3   1/	上位	5,000 4,000 3,000 2,000 1,000	H26	H27	H28	H29	H30計画		ーア	
① 進捗状況	(6)事務事業に関する評価	<b>9</b>			0	=.				-		
成果指標イ のタイプ       向上   横ばい   低下 成 較 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画	<ul><li>① 進捗状況</li><li>□ 完了</li><li>【コメント】</li><li>(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)</li></ul>						亭滞					
③ 今年度取組事項 時期 内容   今   が 拡大	評	タイプ	□ 向上	□ 横に	iv ☑ 但 fiv □ 但	成果動	26年度	27年度	28年度	29年度	30計画	
(30年度に取り組む主 な事項について記載) 8月~ スマートフォンの普及に対応するため、スマート フォン・クブーット機業向は配信を通るする。 カブ・の日本・スマートフォンの普及に対応するため、スマートフォンの普及に対応するため、スマートフォン・フォン・クブーット機業向は配信を通るする。	③ 今年度取組事項 時期	内容	容	2			_					
IIT.I	(30年度に取り組む主 な事項について記載)			スマート		スマ	ートフォンの	)普及に対	応するため	か、スマ <b>ー</b> Ⅰ		